

特別臨時列車の旅 運転席展望

本川越 ⇒ 南入曽車両基地 ⇒ 小平 ⇒ 小川 ⇒ 鷹の台 ⇒ 東村山
(新宿線) (拝島線) (国分寺線)



ANRS-72423B/ 本編約 167 分 5,500 円 (税込)

ANRS-72422 / 本編約 167 分 4,950 円 (税込)

■ 撮影日 / 2025 年 4 月 12 日 (土) 晴 ■ 車両 4000 系臨時列車 4 両編成
■ 区 間 / 本川越 (11:48 発) ⇒ 南入曽車両基地 (12:08 着 -54 発) ⇒ 小平 (13:14 着 -34 発)
⇒ 小川 (13:39 着 -43 発) ⇒ 鷹の台 (13:46 着 -14:45 発) ⇒ 東村山 (14:55 着)

■ 本編の概要 ■

川越鉄道は、1894 年 12 月 21 日に国分寺～久米川仮駅 (現東村山駅) 間、1895 年 3 月 21 日に久米川仮駅～川越駅 (現本川越駅) 間で開通し、2025 年 3 月 21 日に全線開通 130 周年を迎えました。
川越鉄道全線開業区間の始発駅にあたる本川越駅から出発し、南入曽車両基地の車庫線への入線や洗車機内通過体験、所沢駅の通過、小平駅での新宿線から拝島線への直通乗り入れ、鷹の台駅で折り返して終着の東村山までの行程は、定期列車では見ることのできないシーンが目白押しです。また、ツアー列車ならではの沿線や駅の歴史、車両についての案内などの車内放送も旅情をかきたててくれます。運転室内の操作音、運転士の喚呼音も収録。

■ 西武鉄道商品化許諾済

◆ 主な見どころのキャプチャ画像 ◆

※4Kカメラ(3840x2160ピクセル高解像度)と高画質60フレームプログレッシブで撮影された映像をマスターデータとして使用し、プレーイ方式(DVD方式)に変換して記録しています。



本川越でファンにカメラを向けられ発車待ち。前方には東武東上線の電車が走り行く。



脇田信号場を通過。本川越からここまでは新宿線では、唯一の単線区間である。



本線から分岐して、南入曽信号場内へと入っていく。
(入曽～新所沢)



信号場内の 2 番線に到着！



向きを変えて、南入曽車両基地内へゆっくりと進んで行く。



奥の車庫 8 番線に入線。定期列車では入れないエリアだ。



転線して、洗車機の中を走る。この体験ができるのもツアーの特権である。



車両基地内でのイベントを終え、信号場まで戻り、再び本線へ出発していく。



全ての定期列車が停車する所沢を通過して行くのも、貴重なシーンである。



駅員に迎えられ、小平に到着する。拝島線に向うため、一旦引上線に入る。



引上線で向きを変えて、拝島線ホームへ入線していく。



小川を発車すると、単線の国分寺を走る。右へ複線の拝島線が離れていく。



鷹の台の 2 番線で折り返す珍しいシーンをカメラに収めようと、ファンが集まる。



多摩湖線とクロスするが、この地点には両線の接続駅はない。
(小川～東村山)



東村山の手前では、高架化工事が進んでおり、過渡期の様子を見られる。



終着の東村山駅も高架工事の真っ只中で、線路やホームが仮設になっている。

■ 撮影時の気象条件や機材との関係により、明暗のバランスの乱れがある区間があります。また、列車の進行方向によって、逆光による反射光で正面ガラスへの写り込み、汚れ等で展望が見づらいと感じる区間もありますが、あらかじめご了承下さい。

■ キャプチャー画像は、お手持ちのパソコンやテレビ等の環境により、実際の映像より色味が違って見える場合がございます。